

---

# 君が待っている。

真園みけ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君が待っている。

### 【Nコード】

N8280Y

### 【作者名】

真園みけ

### 【あらすじ】

幼なじみの恋人未満。いつも一緒。どこでも一緒。忍耐強い、漢前な彼女と、彼女を溺愛するヘタレ男。

## お外で待ってる。(前)

ああ、もう。

今日に限って、残業なんて。

週末に呼び止められて、来週の予定変更にもなうミーティング。

待ち合わせしてお出かけだというのに。

どんどん気温も下がってきて、雪も降ってきた。

早足で待ち合わせ場所に向かう。

相手は幼なじみで、恥ずかしながら恋人未満。

食事に誘えば、よっぽどの用がなければOKしてくれる。

先週、一緒にテレビをみながら紹介された食堂に、美味しそうだね、行ってみないか？と誘えば、うん、いいね。と返事が帰ってきた。

実のところ、今、俺は、出費を控えている身なのである。  
安くて旨いところなら、出来るだけ連れていきたい。

俺が美味しい所を見つけた時は必ず次は彼女を連れていく。

洒落た店でなくても、俺が美味しいと言ったから、と彼女は付いてきて、美味しかったね。と言いながら帰る。

そんなひとときが俺は大好きで、早く早く、彼女の元へいきたくて。

待ち合わせの時間はとうに過ぎている。

電話する間さえ惜しい。

俺は、どんなときも、彼女が  
待っていてくれるのを知っているから。

## お外で待つてる。(後)

やっと、待ち合わせ場所が見えるところまでたどり着いた。

いた。

雪が降りだしているのに雨ざらしな場所で立っているなんて!!  
髪もコートの肩も濡れちゃっているじゃないか!!

「遅れてごめん」

「うん」こっくり。

…そこは否定しないんだね。

本来、真っ白な肌が寒さで頬も鼻の頭も赤くなってしまっている。

…これはこれで可愛いんだけど。

巻いていたマフラーを外して彼女の頭から首回りをぐるぐる巻いた。  
これってマチコマチとかいうんだっけ？

「何処かに入って雨宿りしてもよかったのに」

「だって、真から電話来なかったから、今、走ってここに向かってる最中だと思って」

もつと遅れるとわかってたら電話してくるでしょ？と。

さすがに幼なじみは行動パターンを読んでいる。

マフラーの巻きを直しながら、ふふ、あったかい、とフニヤツとわらう。

ああ、そんなわずかな温もりで、ご機嫌な猫みtainな笑顔を見せないで。

抱きしめてもつと君を暖めなくなっちゃうから。

…自重するけど。

「お腹すいただろ？行こ？」

手を差し出すときゆつと握ってくる。

指先が冷たい。

こんなになるまで待っていてくれる彼女が可愛くて愛しくて。

小さな手をすっぽりと包むように握る。

もうちよつと待っててね。君を幸せにするからと心の中で呟く。

とりあえず、今は冷えきってしまった君を暖めるものを食べに行こうか。

お外で待ってる。(後)(後書き)

のんびり更新ですが、お付き合いいただけたら幸いです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8280y/>

---

君が待っている。

2011年11月27日11時50分発行